

第2回 ファザー・オブ・ザ・イヤール in みえ 応募用紙

FAX:059-224-2270 (三重県少子化対策課あて)



応募者情報

お名前 ふりがな	電話番号 (日中連絡先)
ご住所 〒 -	電子メールアドレス

応募部門

(☑をつけてください。複数選択可)

- ① “我が家の育児男子” 部門 ② “私の街の育児男子応援団” 部門
 ③ “イクボスさん、いらっしゃい!” 部門 ④ “仕事も育児もこうして両立♪” 部門

推薦いただく男性やグループ、イクボスさん、エピソードや実践事例の持ち主等に関する情報

お名前 (グループ名)	同上 <input type="checkbox"/> ふりがな	育児の対象 <input type="checkbox"/> 自分の子 <input type="checkbox"/> 孫 <input type="checkbox"/> その他 ()
ご住所 (代表者住所)	同上 <input type="checkbox"/> 〒 -	その子の年齢は? 歳
応募者との関係	<input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 夫 <input type="checkbox"/> 妻 <input type="checkbox"/> 父 <input type="checkbox"/> 親戚 <input type="checkbox"/> 友人・知人 <input type="checkbox"/> 同僚 <input type="checkbox"/> 上司 <input type="checkbox"/> 所属企業の経営者 <input type="checkbox"/> その他 ()	会社名 (③④へ応募の場合)

部門①②へご応募の方 推薦いただく男性等が日ごろ行っている家事・育児の内容すべてをチェックしてください。

- おむつ交換 お風呂 ミルクや離乳食をあげる 料理 掃除洗濯 絵本等の読み聞かせ 妻の相談相手 子どもの相談相手
 勉強やマナーを教える 屋内の遊び 屋外の遊びやスポーツ 自然体験 その他 ()

推薦理由・PR コーナー (ご自身の言葉でご自由にお書きください。字数の制限はありません。)

<部門①②へご応募の方>
 上記の中で特に紹介したい育児内容や子どもとの関わり方、エピソード、取組内容等を、具体的に記入してください。

<部門③へご応募の方>
 ご推薦いただくイクボスさんが、日頃どのように部下の育児と仕事の両立を応援しているか、その内容を具体的に記入してください。

<部門④へご応募の方>
 育児と仕事を両立させるために実践している効率的な仕事術やタイムマネジメント術、育児の経験が仕事に役立ったエピソードなどを、具体的に記入してください。

※取組内容のわかる資料や、任意様式に追記していただいたものを添付 (別途送付) していただいても OK です!

同時開催! みえの育児男子フォトコンテスト

撮影時のエピソード

推薦いただいた男性と子どもを撮影したお気に入りの写真を、撮影時のエピソードを添えてお送りください。(10月中旬の表彰式にて「みえの育児男子ベストショット賞」として表彰します。)

※選考にあたっては、電話や面談等により推薦内容についての確認をさせていただきます。

※ご記入いただいた個人情報は、本事業実施にのみ使用し、それ以外の目的で使用いたしません。

※ご紹介いただいた子育ての内容や、お送りいただいた写真等は、表彰式や男性の育児参画推進に関する事業の中で、活用させていただきます。

※お送りいただいた写真や資料等は返却いたしかねますので、ご了承ください。

応募方法

下記のいずれかの方法によりご応募ください。 **ファザーオブザイヤール みえ**

① 応募フォームによるご応募の場合
 WEBサイト内の応募フォームより必要事項をご記入の上、送信してください。
 URL: <https://www.shinsei.pref.mie.lg.jp/uketsuke2/sform.do?acs=27father>

② FAX・郵送によるご応募の場合
 応募用紙に必要事項をご記入の上、送信 (送付) してください。
FAX 送信先: 059-224-2270 / 送付先: 〒514-8570 三重県少子化対策課あて (住所記載不要)
 ※FAXによるご応募の場合、「みえの育児男子写真コンテスト」用の写真データは、応募者名等を明記の上、記録メディアに入れて郵送していただくか、メールに添付 (3.5MB まで) して送信してください。Mail: shoshika@pref.mie.jp



第2回 ファザー・オブ・ザ・イヤール in みえ



自薦・他薦
どちらも OK

ステキな育児をしている男性や、“育ジイ”、“イクボス”などを大募集!
 とっておきの“仕事と育児の両立エピソード”や“実践事例”も大歓迎!



みえの育児男子
フォトコンテストも
同時開催!
(詳細は裏面)

応募者
プレゼント

ご応募いただいた方の中から、
 抽選で**100名**様に
 みえの育児男子プロジェクト 特製
「レジャーシート」をプレゼント



応募資格 三重県内に在住または通勤・通学等をしている方
 (男性・女性問わずご応募いただけます。)

審査・表彰 子育て中の母親等で構成する審査員から「ステキな育児 (取組) をしている!」として、より多くの共感を得られた方々を、第2回「ファザー・オブ・ザ・イヤール in みえ」大賞及び部門賞として、10月中旬に表彰します。(表彰式の詳細は、後日お知らせします。)

問い合わせ先 〒514-8570 津市広明町13
 三重県健康福祉部子ども・家庭局 少子化対策課
 TEL: 059-224-2304 FAX: 059-224-2270
 Mail: shoshika@pref.mie.jp

詳しくは **ファザーオブザイヤール みえ**

応募の詳細は裏面をご覧ください

応募締切 平成27年

8月31日(月)必着

応募部門 (いずれも自薦・他薦ともに可)

1 “我が家の育児男子” 部門

自慢のイクメン夫や子どもとの外遊び・スポーツが大好きなお父さん、昔ながらの遊びを教えてくださいの孫好き“育ジイ”など、その人なりの方法や関わり方で、ステキな育児をしている男性を大募集!

2 “私の街の育児男子応援団” 部門

お互いの子育てを応援しあっているパパ同士の集まりや、子どもの育ちを応援するためのさまざまな地域活動に取り組んでいる男性やグループ、団体などを大募集!

3 “イクボスさん、いらっしゃい!” 部門

部下の育児参画に理解があり、仕事と育児の両立をしっかりと応援してくれる経営者や上司、先輩など (=イクボス) を男性・女性問わず大募集!

4 “仕事も育児もこうして両立♪” 部門

育児と仕事を両立させるための効率的な仕事術、育児の経験が仕事に役立ったエピソード、仕事が忙しい中で実践しているアイデア育児法などを大募集!
 男性にとって参考になる子育て女性等の両立実践事例やエピソードなども大歓迎!

賞品

第2回「ファザー・オブ・ザ・イヤール in みえ」大賞に輝いた方には、下記宿泊施設の無料宿泊券(家族で泊まって楽しめるオプション付き)をプレゼント!
 その他、部門賞もあるよ!

- ・伊賀の里 モクモク手づくりファーム
- ・奥伊勢フォレストピア
- ・合歓の郷ホテル&リゾート
- ・里創人 熊野倶楽部

※ご利用条件の詳細は、賞品提供時にお伝えします。





おとこざわ ただのぶ
男澤 忠宣さん
川越町
推薦者 男澤 沙織さん(妻)
育児対象 お子さん(2歳)



私が1年半の育児休暇を取得した後、夫が、職場の理解もあり、今年4月から1年間の育児休暇を取得することができました。私の心配をよそに、夫は、夫なりの大胆な方法で育児と家事をこなし、子どもと2人の時間を毎日楽しんでいるようです。育児については、子どもと本気で遊び、くたくたに疲れさせる作戦。お弁当を持参して、近くの公園で裸足になって遊ばせたり、近隣市町の遊び場やプールをリサーチし、2人で出かけて行ったりと、母親の私では決して体力が続かないであろう方法で、午前中遊びまわり、午後は3時間程度ぐっすり昼寝をさせるスタイルです。また、家事については、細かいことはおかないし、家電に頼ろう作戦。食器洗いは食洗機、子ども服や靴下などの小物は乾燥機、掃除はルンバなどなど、夫の得意分野である家電製品を駆使し、抜ける手はとことん抜いています。4月当初から私のお弁当もほぼ毎日詰めてくれています。子どもすっかりパパっ子になり、私が出勤するときには笑顔で見送ってくれます(泣)。また、寝かしつけの時は夫がいないと寝ないですし、私の仕事か休みの日に、子どもを私がみて、夫が出かけようとする、涙を流して泣きます。ちょっと切ない気持ちになりますが、夫が日ごろから子どもをよくみてくれている証拠だと思います。夫はよく、父親が育児休暇をとっていても「すごい！」と褒められない社会に変えていきたい、と言います。父親が育児休暇をとることが当たり前前の社会に近い将来くることを私も応援しています。

第1回 ファザー・オブ・ザ・イヤー in みえ 受賞者紹介

表彰式 H26.11.23

※文章は一部抜粋しています。全文はホームページをご覧ください。



みうら まさひろ
三浦 正弘さん
いなべ市
推薦者 三浦 真美さん
(正弘さんの子)の妻
育児対象 お子さん(0歳、2歳)



隣に住むじーじは息子とよく庭遊びをしてくれます。散歩しながら草花の名前を教えたり、草むしりしたり。季節遊びもしてくれます。パーベキューしようと思った時、竹を割って流しうめんをやりました☆竹を運ぶ作業、切る作業、削る作業とすべて1人でやったほうが早いのに息子と一緒にやってくれます。もちろん2才児は邪魔しかしません。どんなに邪魔でも見守ってくれます。軽トラの荷台に乗せたり、作業用の一輪車に乗せて散歩したり。とても私では思いつかない遊びばかり次から次へと感心します。息子はじーじが大好き。あたしもそんなじーじが大好き。



ひらお つよし
平尾 剛志さん
いなべ市
推薦者 本人(自薦) 育児対象 お子さん(4歳、5歳)



産まれた時から寝かしつけを担当していた私。毎日寝る時にする事は、「1日の楽しかった事の発表会」。年子の娘たちは保育園で友達と遊んだ事や先生と何かを作ったなど、嬉しそうに話をします。もちろん私も発表をします。仕事があまく進んだ。会議がまとまった等を子供に分かるようにお話します。娘たちの話を毎日聞いているので、保育園の友達の名前はほとんど言えます。最後には「明日も楽しい1日にしようね♪おやすみ♪」です。先日、些細な事で5歳の長女と喧嘩をしました。その日の夜にもらった手紙です。

おとうさんへ
いっばいだいすきだよ
きょうはもんくゆてごめんね
ほんとわゆいたくなかたんだよ
きょうはかきごありかてくれてありがと
きょうはかたずけしてくれてありがと
いつでもあそぼうね
めいより

娘の成長をすごく感じた瞬間でした。これからも寝かしつけを通して、たくさんコミュニケーションをとり、いつまでも娘たちが大好きなお父さんでいたいと思います。

ファザー・オブ・ザ・イヤー in みえとは？

家庭や地域でステキな子育てをしている男性(=育児男子)や、部下の仕事と育児の両立をしっかりと応援してくれる職場の上司(=イクボス)、育児と仕事の両立に関するエピソードや実践事例などを自薦・他薦により募集し、多くの共感を得られた方々を表彰し、その内容を広く県民の皆さまに紹介する取組です。「みえの育児男子プロジェクト※」の一環として実施しており、昨年度の第1回だけで387件という多数のご応募をいただきました。

※「子育てには男性の育児参画が大切」という考え方が職場や地域社会の中で広まるよう、家族での話し合いや理解のもと、その人なりの方法で、子どもの生き抜く力を育てることを大切に考えて、男性が積極的に育児に参画することを応援する取組。



ななめの関係をテーマに活動するパパ団体
ミエメン
松阪市

推薦者 川端賢一さん(「ミエメン」メンバー)
育児対象 団体に参加するパパの子ども達+地域の子ども達



ミエメンは、「忙しいパパでも、子供達の豊かな成長のためにできること」を、実践を通じて学んでいるパパグループです。取組内容は、定期的にメンバーの家族が集まり、メンバーが各自の特技を生かして、子供達の成長につながり、思い出に残る企画を実施しています。例えば、大きい鯉のぼりがある家で「屋根より高い鯉のぼりを自分達で作ろう!」、段ボールを使って自分で鎧・剣・変身アイテムを作って「ミエメン ヒーローごっこ」、メンバーの家庭菜園で「野菜の収穫体験」など。その際、パパはできるだけ我が子以外の子供と関わるようにし、実施後は反省会を開催して、子供達との関わり方や気付いたことを話し合い、その後の自分の子育てに活かしています。また、取組がパパ達の自己満足に終わらないよう、ママ達に「監視人」として参加してもらい、取組の間にはママにゆっくりお茶を飲んでもらう、そんな時間も設けています。これからも、ミエメンのノウハウはドンドンと地域に提供し、自分なりに男性育児参画が盛んになることに貢献したいと思っています。



「イクボスさん、いらっしやい」部門
部門賞
万協製薬株式会社代表取締役社長
まつうら のぶ お
松浦 信男さん
多気町

推薦者 檜垣紀安さん(同社社員)
育児対象 従業員の子ども



「社員が会社の仕事に楽しく取り組める」ためには、「仕事」と「休み」がバランスよく取れることが必要であることから、従業員がやりがいを持って働き続けられるよう、ワーク・ライフ・バランスの制度等を充実させている。

※主な取組

- ・育児休業は最長3年まで取得可能
- ・復帰後は子が小学校卒業まで1日3時間まで短縮することができる育児短時間勤務制度あり
- ・子育ての悩みや状況を話し合う『万協パパママ会』があり、ママ側・パパ側の育児の悩みや疑問に、お互いが答え、アドバイスしあっている。
- ・男性が育休復帰後には、会社内で育児休業について発表し、男性の育休取得への理解を深めるように取り組んでいる。
- ・アンケート実施、管理職、全社員研修の実施等により、制度を利用しやすい職場環境づくりに努めている。

この他の受賞された方々

- | | | | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>大賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 津市 伊藤 一生 さん ● 津市 坂井 勇紀 さん・勇人 さん 親子 | <p>部門賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 桑名市 永谷 宜之 さん ● 津市 田中 利雄 さん | <ul style="list-style-type: none"> ● 松阪市 鎌倉 喜昭 さん ● 多気町 志村 和浩 さん | <ul style="list-style-type: none"> ● 桑名市 河村 英行 さん ● 四日市市 榎本 茂 さん |
| <p>ベストショット賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 津市 添田 祐貴 さん ● 川越町 瀬古 隆史 さん | <ul style="list-style-type: none"> ● 津市 下里 育人 さん | | |